

# 知っていますか？ 口の中の“がん”のこと ～セルフチェックと検診で早期発見～

## 講演要旨



日本歯科大学生命歯学部 口腔外科学講座 主任教授 **里見 貴史**

「口腔がん」は、人口の高齢化に伴い罹患患者数が年々増加する傾向にあり、咽頭がんを合わせると年間2万人以上が罹患しています。口腔がんは、がん全体の2～3%、全頭頸部がんの約40%ですが、リンパ路が豊富な刺激が加わる部位に好発するため、容易に転移しやすく、生命に関わる重大な疾患であることに違いはありません。口腔がんを咽頭がんを合わせると死亡率は、35.5%（全25部位中12位、国立がん研究センター2016年）と報告されています。ただし、口腔がんは、肺がんや胃がんなどとは異なり直接、見て触れることができるため、早期発見が容易な“がん”でもあり、初期のうちに治療ができれば後遺症もほと

んどなく、5年生存率は90～95%と予後良好です。しかし、進行してからでは最悪（死）の結果は免れたとしても「食べる・話す・表情を作る」といった機能が大きく損なわれ、生活の質の著しい低下をきたします。すなわち、社会生活に大きなハンディキャップを負うこととなります。それゆえ、口腔がんは他のがん同様にそれ以上に、早期発見・早期治療が極めて重要であるといえます。

本講演では、口の中にできるがんの特徴についてわかりやすく説明し、さらに、口腔がんのセルフチェックと予防、口腔がん検診についても解説します。

## 略歴

- 1990年 日本歯科大学歯学部卒業
  - 1994年 東京医科大学大学院医学研究科博士課程修了 医学博士
  - 1995年 東京医科大学口腔外科学講座 助手
  - 1995年 日本医科大学多摩永山病院救命救急センター 国内留学
  - 2000年 Canniesburn Hospital (Scotland)  
Maxillofacial Unit, Morrision Hospital (Wales)  
Maxillofacial Unit に国外留学
  - 2003年 東京医科大学口腔外科学講座 講師
  - 2012年 東京医科大学口腔外科学分野 臨床准教授
  - 2018年 東京医科大学口腔外科学分野 兼任教授
  - 2018年 日本歯科大学生命歯学部口腔外科学講座 主任教授
- 現在に至る

## 専門医・指導医・学会活動

- 日本口腔外科学会  
理事、代議員、口腔外科専門医・指導医
- 日本口腔科学会 理事、評議員、指導医
- 日本がん治療認定機構  
がん治療認定医（歯科口腔外科）
- 日本頭頸部癌学会 代議員
- 日本口腔腫瘍学会  
評議員、暫定口腔がん指導医
- 日本歯科大学歯学会 理事、評議員